

市内の世代別人口1位は、60歳～69歳で、市の人口の16.2%を占める。団塊の世代（1947年～1949年生まれ）を含む世代が全国的に多く、日本の総人口の14.2%を占める。



### 世代別人口

- 1 60歳～69歳  
4,664人
- 2 70歳～79歳  
3,983人
- 3 50歳～59歳  
3,777人
- 4 30歳～39歳  
2,914人
- 5 80歳～89歳  
2,869人

平成22年10月1日現在の香美市の人口を10歳ごとの世代別で見たランキング。総数は28,766人。20歳～39歳は外国人が多く154人。単年齢別で見た場合、1～3位までは団塊の世代（62歳→61歳→63歳）であるが、4位は19歳（496人）。平成21年に高知工科大学が公立化され、県外学生が増加したことによると考えられる。  
資料：平成22年国勢調査

### 職業別人口

- 1 農業  
2,290人
- 2 卸・小売り  
1,948人
- 3 医療・福祉  
1,770人
- 4 製造業  
1,427人
- 5 建設業  
825人

香美市在住で15歳以上の産業別就業人口ランキング。就業者総数は、12,847人。3位の医療・福祉は香美市民の就業者のうち、13.8%を占める。高知県は、医療・福祉に従事する人口の割合が全国1位で14.9%。全国と比較した場合、高齢化率が高いということが影響していると考えられる。  
資料：平成22年国勢調査

市内の職業別人口1位は農業の2,290人で、全国的に第3次産業への就業人口が多い中、香美市は農業への従事者が多く、全体の17.8%。従事者の高齢化率が高く、60歳以上が66.1%（1,513人）を占める。30歳未満は100人。高知県の就業者に対する農業従事者の割合は、青森、岩手、宮崎に次いで全国4位の10.0%。



農作物生産量1位の米は作付面積でも断トツ1位の679ha。経営耕地面積が30a以上等の条件を満たす事業者を指す経営体数においても1位で735経営体。2位のニラは米と生産量はわずかな差であるが、作付面積は53haと小さい。作付面積の市内2位はネギ類で169ha。3位がユズで168ha。



### 農作物生産量

- 1 米  
3,260t
- 2 ニラ  
3,244t
- 3 ネギ類  
2,654t
- 4 ショウガ  
2,376t
- 5 ユズ  
1,437t

市内で作られる農作物の生産量ランキング。ユズ玉の出荷量は全国一。経営耕地面積が30a以上等の条件を満たす事業者を指す経営体数において、ネギは市内2位、県内1位の270経営体。ゆずを多く含む、みかん以外のかんきつ類は市内3位・県内3位の216経営体。ニラは市内4位、県内2位の111経営体。  
資料：作物統計、高知県の園芸2010年世界農林業センサス

### 売上が大きい業種

- 1 製造業  
236億4,400万円
- 2 卸・小売業  
193億1,000万円
- 3 医療・福祉  
82億4,900万円
- 4 農林漁業  
54億9,300万円
- 5 生活関連サービス、娯楽業  
25億1,600万円

市内の売上を業種別で見た場合のランキング。全国的には、卸・小売業が製造業より売上額が高い。全国的には下位の農林漁業が香美市では4位。ちなみに市民の年金を産業に見立てると、国民年金と厚生年金だけで、120億2,378万円。他の年金を含めると、かなりの額になる。  
資料：平成24年経済センサス活動調査、平成25年国民年金市区町村別受給権者数

市内で売上が大きい業種の1位は製造業。市町村別でみると、香美市の製造品出荷額は県内6位。製造業の中では、生産用機械器具製造業、食料品製造業が群を抜いて出荷額が高く、農機製造やショウガの加工業が盛んである。土佐山田町片地には製造工場の入った高知テクノパークがある。  
資料：平成22年工業統計



市民の皆さんにご協力いただいている統計調査の結果をランキング形式で報告します。  
毎年、国や県、市による統計調

査が行われており、今年は6月に経済センサス基礎調査・商業統計調査、9月に全国消費実態調査、12月に工業統計調査を行います。

来年は全ての人が対象になる国勢調査、農林業を営んでいる方を対象に農林業センサスを行います。調査結果は、国や地方公共団体

の政治・行政、民間企業・研究機関で利用され、国民生活に役立てられています。調査へのご協力をお願いします。